

## 一人一人の行動

### 静岡市内小学校

#### 稲葉さん

四年生のまとめ学習の時に、SDGsについて勉強をしました。僕は十二番の「つくる責任、つかう責任」について調べて、食品ロスが地球温暖化などの環境問題と深く関わっているということを知りました。世界の異常気象の原因は、二酸化炭素などによる温室効果ガスです。廃棄したゴミ処理には温室効果ガスが発生し、それが地球温暖化による異常気象を引き起こします。

日本での食品ロスの量は、年間約四七二万トンで、その半分は家庭からのごみです。家庭のごみの多くは、食べ残しや賞味期限切れ、食べられるのに捨てられてしまう野菜の部分などです。僕の家でも、キヤベツの芯や、大根やにんじんなどの皮をたくさん捨てていました。調べてみたら、家庭から出るごみの四割は生ごみで、一番多いのは野菜などの調理くずです。そして、日本のごみ処理は焼却処分が主に行われています。しかし、生ごみには多くの水分が含まれていて、生ごみを燃やすとその水分によって焼却炉内の温度が低くなり、焼却炉を傷める原因になると本に書いてありました。それを防ぐために、新た

に化石燃料を入れたり、プラスチックと一緒に燃やしたりして、焼却炉内の温度を高温に保っているところもあるとも書かれていました。

生ごみが増えてしまうと、燃やすための燃料が必要になり、その結果、多くの二酸化炭素を排出してしまいます。僕は、生ごみをたくさん家庭から出してしまうと、ごみ処理場も困ると思うし、温室効果ガスで地球も困ってしまうと思いました。地球が困ると、干ばつなどの異常気象を引き起こして、最終的には人間が作物が作れずに困ってしまいます。

僕は、食品ロスによるごみを減らす対策として、コンポストを作りました。コンポストとは、生ごみを土に混ぜることで、微生物が生ごみを分解して肥料ができます。コンポストを使うことによって、家から出る生ごみの量が減り、ごみ処理場での悪臭、害虫、火災の発生の問題を減らすことができたと評価されています。

学校みんなにアンケートをとってコンポストについて聞いてみたら、コンポストを知らない人がほとんどでした。そこで僕は、コンポストの作り方を動画で撮ってみんなに見せました。作り方はとても簡単で、不織布の衣類収納ケースに土を入れて、そこにもらってきたぬかを入れて、水を入れて混ぜ、あとは野菜のくずを入れて、収納ケースを振ってさらに混ぜます。僕の動画を見た友達の中には、やってみ

たい！といってくれた人もいました。僕は今、約八ヶ月間コンポストを続けています。お母さんからは、ごみが減ったと喜んでもらっています。コンポストでできた肥料は花壇に撒き、元気の良い花が咲いてくれています。

コンポストを使うことで、家庭からの生ごみが減り、全体のごみの量も減り、結果的に温室効果ガスの排出量の削減につながります。僕たち一人一人の努力で地球環境を守ることができます。一緒にコンポストを作りませんか。